令和6年度学校評価報告書

令和7年3月17日

北海道教育委員会教育長 様

北海道岩見沢西高等学校長 伊 勢 一 哉

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1) 生徒一人一人の学習状況に応じた細やかな指導を工夫し、主体的な学習態度と学力の向上を図るとともに自ら学ぶ意欲を育てる学習指導を推進する。 (2) 生徒一人一人の主体性の育成を図り、自らを律する心を育てる生徒指導を推進する。 (3) 生徒一人一人が自ら進路目標を早期に確立し、キャリア教育の視点から進路目標実現を図る進路指導を推進する。 (4) 生徒一人一人が自分自身を大切に健康な生活を送るために、自ら心身を鍛える意欲と態度を育てる健康・安全指導を推進する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・本校 Web ページによる教育活動の情報発信について、行事ごとにこまめに更新した。1日平均約 650 件の閲覧があった。 ・学校評価アンケートより、学校HPは学校の様子を伝えるものになっているかとの問いに、そう思う・概ねそう思うが 84.4%となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大変多くの閲覧があり、一定の評価ができる。 ・Web ページを確認すると、掲載されているのは生徒の様子であり、保護者からの反応は良いと思うが、一般の方への新設校への情報発信をさらに意識した工夫をしてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・新設校になっても、信頼される学校づくりのための情報発信を積極的に行う。 ・保護者だけでなく、広く地域への情報発信も意識しながら学校運営を行う。 	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、個別最適な学びを実現するため、リモート授業の方法を確立し、緊急時や不登校・長期入院の生徒への対応を行った。 ・働き方改革の一環として、自動採点システムの導入を進め、生徒対応の時間の確保を行った。 ・新設校の単位制のカリキュラムについて、本校の実績を活かして作成した。年間指導計画についても作り上げることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導について、様々な分野で前に進んでいる姿勢が見ることができる。 ・統合される岩見沢東高校と共に進めていると聞き安心している。 ・単位制の魅力を新設校でも十分に発揮してもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・自動採点システムは、全道的に比較すると岩見沢は遅れているので、新設校で積極的に進める。 ・個々の生徒に対応している点が評価できる。今後も個に応じた学習を推進していく。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の交通安全該当指導を実施するなど交通安全啓蒙活動を行っているが、今年度2件の交通事故が発生した。新設校になっても引き続き日常からの交通安全啓蒙に努めたい。 ・SNS上でのトラブル、個人情報流出のトラブルなど、ネット上でのトラブルが発生した。今年度はスマホ・インターネット教室を実施したが、次年度さらに指導を強化していきたい。 ・いじめについて、今年度から積極的認知を行い、委員会を中心に多くの教員で共有しながら全校で対応した。次年度も体制を強化したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故については、今後も日常からの注意喚起を引き続き行い、啓蒙に努めてほしい。 ・いじめやネットトラブルなど、初期段階で対応している点が評価できる。問題が大きくなる前の対応は、いじめられている人もいじめられている人も、大きく傷つく前に指導ができる点において評価できる。 ・前年度がいじめ認知0件だったことを考えると、今年度の体制に大きな改善が見られたことについて、評価できる。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を、新設校でも実施できるよう、引継ぎをしっかりと行っていきたい。 ・早めの対応を心掛け、初期に対応することを継続する。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の総合的な探究の時間で「職業人インタビュー」へ内容を変更し、地元企業の協力を得て、フィールドワークを実施した。対人コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上が見られた。 ・面接指導を強化し、自己を見つめる機会を例年以上に増加した結果、総合型選抜・学校型選抜の進路実績を飛躍的に上げることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年内受験の総合型選抜と学校型選抜がこれだけ進んでいる昨今の進路指導として、大変評価できる。また、進路結果も出ており、今年度の取組は、高い評価ができる。 ・昨今は、半導体工場の進出など、工業系専門職の需要が高まっている。しかし、地元企業は、専門的知識も大切であるが、人間力を身につけた人材を求める傾向がある。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・年内入試へのシフトチェンジはこれからもっと進むことが予想されるため、次年度も地元企業の協力を得ながら、自分自身を見つめ、自分のことを説明できる進路指導を中心に行っていく。 	
健康安全	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解及び生徒のストレス・マネジメントについての校内研修を実施し、生徒理解の方法、リスクの高い生徒への対応について、専門家からの指導を仰ぐことができた。 ・月に1回の相談支援委員会を実施し、配慮が必要な生徒の対応を協議することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーとの連携も行いながら委員会を実施しており、評価できる。 ・1人も見逃さないという姿勢は大変素晴らしい。今後も継続して行って欲しい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・今回学んだ生徒理解の方法について、新設校でも情報共有し、実践していく。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・本校のホームページで公開するとともに、PTA役員会・総会等で公表する。 ・令和7年度の学校評議員会で概要報告する。 	